



平成18年 3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年 7月29日

上場会社名 住友金属鉱山株式会社
(URL <http://www.smm.co.jp/>)

(コード番号: 5713 東・大)

代 表 者 代表取締役社長 福島 孝一
問い合わせ先責任者 経理部財務決算担当部長 中山 靖之

TEL (03) - 3436 - 7926

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 ・ 連結子会社数 48社 持分法適用非連結子会社数 - 社 持分法適用関連会社数 10社
 連結 (新規) 1社 (除外) - 社 持分法 (新規) 2社 (除外) - 社

2. 平成18年 3月期 第1四半期 財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年6月30日）

(1)経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満四捨五入)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四 半 期 (当 期) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年 3月期 第1四半期	129,564	8.9	13,643	26.1	16,632	17.3	10,140	23.2
17年 3月期 第1四半期	118,944	30.7	18,458	264.6	20,119	240.5	13,210	217.2
(参考) 17年 3月期	484,585		47,893		54,486		37,017	

	1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益		潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益	
	円	銭	円	銭
18年 3月期 第1四半期	17	78	-	
17年 3月期 第1四半期	23	14	-	
(参考) 17年 3月期	64	77	-	

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総 資 産		株 主 資 本		株 主 資 本 比 率		1 株 当 たり 株 主 資 本	
	百万円		百万円		%		円 銭	
18年 3月期 第1四半期	592,368		290,976		49.1		510 10	
17年 3月期 第1四半期	539,507		261,948		48.6		458 92	
(参考) 17年 3月期	573,925		283,897		49.5		497 57	

3. 平成18年 3月期の連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

業績予想の見直しは行っておりません。

1. 経営成績および財政状態

(1) 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等

（単位：億円）[]内は単独 < >内は連単倍率

	売上高	営業利益	経常利益	純利益
平成 18 年 3 月期第 1 四半期	1,296 [971] <1.3>	136 [98] <1.4>	166 [135] <1.2>	101 [87] <1.2>
平成 17 年 3 月期第 1 四半期	1,189 [864] <1.4>	185 [143] <1.3>	201 [149] <1.3>	132 [98] <1.3>
増減（増減率％）	107（ 8.9） [107](12.4)	49（ 26.1） [45](31.3)	35（ 17.3） [14](9.0)	31（ 23.2） [11](11.1)

当第 1 四半期(平成 17 年 4 月 1 日から平成 17 年 6 月 30 日まで)におけるわが国経済は、企業収益が高水準にあることや、またそれを背景とした設備投資の増加等に支えられ、緩やかな回復基調で推移しました。しかし一方で、原油価格の高騰、中国経済の今後の拡大状況など懸念材料も多く、依然として景気の先行きの不透明感を払拭するには至りませんでした。当社グループを取り巻く事業環境は、資源部門、金属および金属加工部門においては、ニッケル、銅、亜鉛および金の海外相場が高水準で推移しましたが、電子材料および機能性材料部門においては、一部を除き、前期後半に始まった半導体・電子部品市場の在庫調整局面の影響が色濃く残りました。また、為替は前年同期に比べ、円高となりました。

このような状況のもとで、中期経営計画の 2 年目である本年度は、基本戦略である資源・金属事業と電子・機能性材料事業の拡充・強化を着実に図っております。その結果、当社グループの当第 1 四半期の売上高は 1,296 億円、営業利益は 136 億円、経常利益は 166 億円、純利益は 101 億円となりました。なお、前年同期には、銅、ニッケル等のたな卸資産の評価方法を後入先出法から先入先出法に変更したことによる一時的な営業利益の増加が 59 億円含まれていましたので、当第 1 四半期は、実質的には増益基調です。

当第 1 四半期の業績は、非鉄金属価格を中心として、想定よりも好調な事業環境が継続していることにより、本年 4 月 28 日に公表した連結業績予想に比べ、高い進捗率となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等

当第 1 四半期末の総資産は、銅 45 万トン増産起業やポゴ金鉱山開発プロジェクトなどを中心とした設備投資、また非鉄金属価格が高水準で推移したことによるたな卸資産の増加などにより、前年同期末に比べ 529 億円増の 5,924 億円となりました。

また、株主資本は、前年同期末に比べ 290 億円増の 2,910 億円となり、株主資本比率は 49.1%となりました。

(3) ご参考

平成 18 年 3 月期の連結業績予想（平成 17 年 4 月 28 日公表）

（単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期	2,300	100	170	110
通期	4,800	360	490	290

なお、平成 18 年 3 月期の連結業績予想につきましては、上記の第 1 四半期業績を踏まえて行う見直しの結果により、お知らせいたします。

2. 四半期連結（要約）貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	当第1四半期 (H17/6末)	前年同四半期 (H16/6末)	増減	前連結会計年度 (H17/3末)
（ 資 産 の 部 ）				
流動資産	240,604	206,270	34,334	226,846
現金および預金	45,668	22,813	22,855	35,090
受取手形および売掛金	66,342	75,674	9,332	63,491
たな卸資産	95,900	79,197	16,703	102,817
その他の	33,136	29,147	3,989	25,889
貸倒引当金	442	561	119	441
固定資産	351,764	333,237	18,527	347,079
有形固定資産	210,262	197,557	12,705	207,745
建物および構築物	71,713	60,611	11,102	71,463
機械装置および車両・運搬具	84,101	74,205	9,896	86,223
土地	27,572	29,269	1,697	27,431
その他の	26,876	33,472	6,596	22,628
無形固定資産	5,341	6,052	711	5,336
投資その他の資産	136,161	129,628	6,533	133,998
投資有価証券	130,135	122,145	7,990	129,068
繰延税金資産	977	710	267	388
その他の	5,573	7,245	1,672	5,065
貸倒引当金	524	472	52	523
資 産 合 計	592,368	539,507	52,861	573,925
（ 負 債 の 部 ）				
流動負債	141,636	128,943	12,693	140,464
支払手形および買掛金	34,337	30,187	4,150	35,458
短期借入金	42,746	40,604	2,142	40,756
一年以内償還予定社債	10,000	16,000	6,000	10,000
その他の	54,553	42,152	12,401	54,250
固定負債	148,709	139,074	9,635	140,635
社債	50,000	60,000	10,000	50,000
長期借入金	65,719	48,090	17,629	59,777
退職給付引当金	12,342	14,828	2,486	12,257
その他の	20,648	16,156	4,492	18,601
負 債 合 計	290,345	268,017	22,328	281,099
（ 少 数 株 主 持 分 ）				
少数株主持分	11,047	9,542	1,505	8,929
（ 資 本 の 部 ）				
資 本 金	88,355	88,355	0	88,355
資本剰余金	81,191	81,187	4	81,191
利益剰余金	119,286	90,845	28,441	113,762
その他有価証券評価差額金	14,690	16,168	1,478	15,280
為替換算調整勘定	11,743	14,066	2,323	13,912
自己株式	803	541	262	779
資 本 合 計	290,976	261,948	29,028	283,897
負債、少数株主持分および資本合計	592,368	539,507	52,861	573,925

3. 四半期連結（要約）損益計算書

（単位：百万円）

科 目	当第1四半期 (H17.4～H17.6)	前年同四半期 (H16.4～H16.6)	増減	前連結会計年度 (H16.4～H17.3)
売 上 高	129,564	118,944	10,620	484,585
売 上 原 価	107,184	91,968	15,216	401,707
売 上 総 利 益	22,380	26,976	4,596	82,878
販売費および一般管理費	8,737	8,518	219	34,985
営 業 利 益	13,643	18,458	4,815	47,893
営 業 外 収 益	4,894	4,347	547	15,771
受取利息および受取配当金	651	403	248	957
持分法による投資利益	3,376	3,509	133	13,513
そ の 他	867	435	432	1,301
営 業 外 費 用	1,905	2,686	781	9,178
支 払 利 息	562	497	65	1,850
そ の 他	1,343	2,189	846	7,328
経 常 利 益	16,632	20,119	3,487	54,486
特 別 利 益	54	73	19	3,800
固 定 資 産 売 却 益	40	29	11	892
そ の 他	14	44	30	2,908
特 別 損 失	75	79	4	4,369
固 定 資 産 除 売 却 損	47	55	8	1,649
そ の 他	28	24	4	2,720
税金等調整前当期純利益	16,611	20,113	3,502	53,917
法 人 税 等	6,335	6,333	2	15,522
少 数 株 主 利 益	136	570	434	1,378
当 期 純 利 益	10,140	13,210	3,070	37,017

4.セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

(単位:百万円)

	当第1四半期 (平成17年4月1日～平成17年6月30日)							
	資源部門	金属および 金属加工部門	電子材料および 機能性材料部門	住宅・建材 部門	その他 部門	計	消去 または全社	連結
売上高および 営業利益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	5,630	77,719	40,036	3,701	2,478	129,564	—	129,564
(2) セグメント間の 内部売上高 または振替高	2,198	12,717	1,741	238	1,781	18,675	△ 18,675	—
計	7,828	90,436	41,777	3,939	4,259	148,239	△ 18,675	129,564
営業費用	5,310	82,842	39,473	3,524	3,382	134,531	△ 18,610	115,921
営業利益	2,518	7,594	2,304	415	877	13,708	△ 65	13,643

	前年同四半期 (平成16年4月1日～平成16年6月30日)							
	資源部門	金属および 金属加工部門	電子材料および 機能性材料部門	住宅・建材 部門	その他 部門	計	消去 または全社	連結
売上高および 営業利益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,362	68,576	39,773	3,297	2,936	118,944	—	118,944
(2) セグメント間の 内部売上高 または振替高	2,654	12,774	1,677	97	738	17,940	△ 17,940	—
計	7,016	81,350	41,450	3,394	3,674	136,884	△ 17,940	118,944
営業費用	4,989	68,523	38,091	3,135	3,590	118,328	△ 17,842	100,486
営業利益	2,027	12,827	3,359	259	84	18,556	△ 98	18,458

対前年同四半期増減

売上高	812	9,086	327	545	585	11,355	△ 735	10,620
営業利益	491	△ 5,233	△ 1,055	156	793	△ 4,848	33	△ 4,815

(注) 事業区分の方法および各区分に属する主要な製品または事業の内容
企業集団が採用している利益センター区分を基礎に、製品の種類、性質および製造方法などを勘案し区分して
おります。

事業区分	主要製品等
資源部門	金銀鉱、銅精鉱および電気銅、地質調査等
金属および金属加工部門	電気銅、金、ニッケル、伸銅品等
電子材料および機能性材料部門	エレクトロニクス材料、電子部品、機能性材料
住宅・建材部門	軽量気泡コンクリート(ポアレックス)、住宅等の設計施工等
その他部門	使用済み触媒からの有価金属の回収および販売、原子力エンジニアリング等